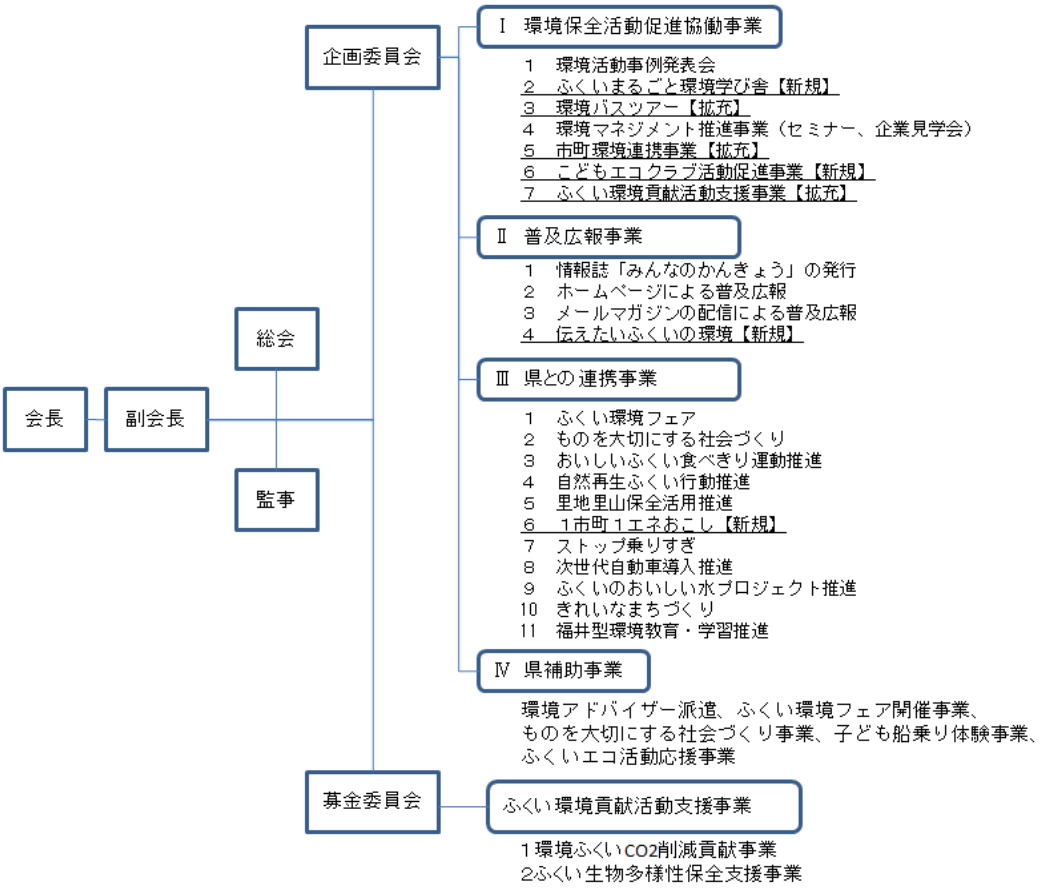
平成24年度 事業計画

平成 24 年度事業体系改編のポイント

(1) 普及広報事業を除く協議会の自主事業を「環境保全活動促進協働事業」として、一元化
(2) 情報誌発行事業を普及広報事業に統合
(3) 「県・市町との連携事業」を、県事業の側面支援である「県との連携事業」と、県の補助を受けて実施する「県補助事業」に整理

環境ふくい推進協議会事業体系図



Ⅰ 環境保全活動促進協働事業

1 環境活動発表会

［内容］　環境活動実践者の発表会を開催する。
［開催時期］　平成 24 年 4 月 26 日（木）
［場所］　福井県国際交流会館 特別会議室

2 ふくいまるごと環境学び舎【新規】

［内容］　企業、団体、個人等との協働による講演、セミナーや体験活動を開催する。

［開催時期］　通年

ふくいまるごと環境学び舎

1 理念

県内のあらゆる場所において、県民が協働して環境について学び・体験することで、豊かな人間性を持った人材を育てることにより、持続発展可能な社会を形成することを理念とする。

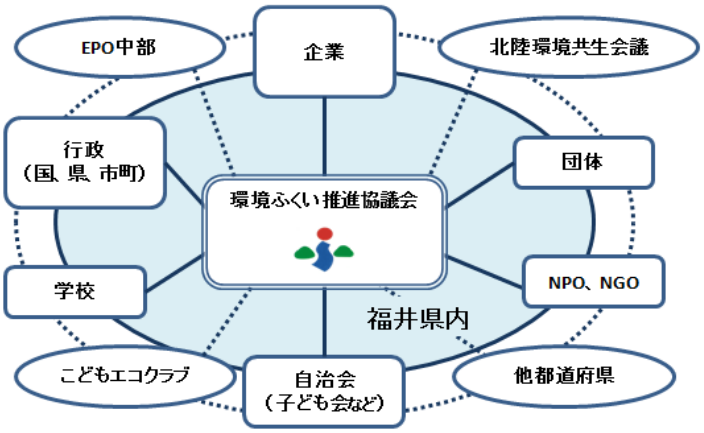
2 方針

1 県内のあらゆる場所において、環境保全に関する教育を実施。
2 行政、企業、団体、個人が協働して、学習会や自然体験活動を実施。
3 環境に関する活動の情報提供や情報発信。

3 具体的な内容

1 県内において実施されている環境保全活動を発掘、新たな環境保全活動を実施。
2 環境保全活動施設、場所の確保
3 協議会との共催、連携の他、ステークホルダー同士のつながりを進めることにより、さらに質が高く、効果の高い環境保全活動の実施。
4 環境ふくい推進協議会での、環境保全活動の情報提供や情報発信、活動報告。

ステークホルダーのネットワーク化と事業のコラボレーション



主催事業	共催事業	連携事業
自ら行う事業	経費の一部を補助する事業	行政、企業、団体、NPO、学校、個人が行う事業
■環境活動事例発表会 ■環境バスツアー ■企業見学会 ■環境マネジメントセミナー など	■店舗における学習会 ■企業施設を用いた体験活動 ■出前授業 ■団体の学習会 ■環境貢献活動 ■自然体験活動 など	■大学オープンカレッジ（環境分野） ■ライフアカデミーによる環境講座 ■放送大学（環境分野） ■出前講座 ■団体の学習会 ■自然体験活動 ■学習施設提供 ■所有地提供 など

3 環境バスツアー【拡充】

［内容］　年1回実施だった日帰りバスツアーを、地球環境、循環社会形成、生物多様性などに分類し、3回実施する。

［開催時期］　7月～11月

4 環境マネジメント推進事業

［内容］　主に事業所の環境管理者等を対象に、先進事例の見学会や基調講演および実践事例発表を実施する。

［開催時期］　10月～2月

５ 市町環境連携事業【拡充】

［内容］　市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

助成要件

〇環境保全に貢献する事業または県民の環境意識向上に寄与する事業

〇事業費が 5 万円超

〇各市町 1 件の枠

助成額

〇福井市：10 万円／件、その他の市町：5 万円

６ こどもエコクラブ活動促進事業【新規】

［内容］　こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

助成額　　壁新聞作成に係る経費の支援　1 万円／クラブ　10 クラブ

７　ふくい環境貢献活動支援事業【拡充】

［内容］　福井型 CO2 削減貢献事業やふくい生物多様性保全支援事業、ふくいおひさまクラブの活性化を図る。

Ⅱ 普及広報事業

１　情報誌発行事業

［内容］　環境問題や環境教育に関する情報、事業者やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報誌を発行する。

発行回数 1 回

発行部数 3,000 部

配 布 先 協議会会員、小・中・高等学校、図書館、公民館 等

２ ホームページによる普及広報

［内容］　新しくなったホームページを活用し、お知らせやイベント情報を充実する。

３　メールマガジンの配信による普及広報

［内容］　メールマガジンにより、さまざまな環境保全活動情報の提供を行う。

４　伝えたいふくいの環境【新規】

［内容］　美しい福井の自然や心に残った環境保全活動等の写真をホームページに投稿し、福井の環境保全を促進するよう普及啓発を行う。

Ⅲ 県との連携事業

以下の県事業（県補助による協議会事業を含む）をより効果的なものとするため、当協議会としても県の取組みを支援するための事業を実施する。

１　ふくい環境フェア

［内容］　地球温暖化の防止、循環型社会の形成、自然環境の保全を促すため、「ふくい環境フェア」を開催する。

２　ものを大切にする社会づくり

［内容］　循環社会形成のために、資源の回収などを行う。

３「おいしいふくい食べきり運動」推進

［内容］　家庭や外食時の食べ残しを減らし、ごみの減量化に取組む。

４「自然再生ふくい」行動推進

［内容］　身近な生物を、近くの小川、田んぼや家のまわりなどで再び見ることができるよう、身近な自然を守り育む運動実践のための活動を行う。

５　里地里山保全活用推進

［内容］　多くの生き物が生息する豊かな里地里山の保全計画作成支援、里地里山の保全再生活動を行う。

６　「１市町１エネおこし」【新規】

［内容］　県内各地域の特色を活かした再生可能エネルギー事業の展開を図り、全ての市町に一つ以上の再生可能エネルギーが導入されるよう取組みを行う。

７　ストップ乗りすぎ

［内容］　みどりの自転車の活用など、車への過度の依存を避けるようホームページ等を活用した取組みを行う。

８　次世代（省エネ）自動車導入推進

［内容］　自動車からの大幅な CO2 削減を図るため、次世代自動車（電気自動車・プラグインハイブリッド車）の試乗会や学習会を行う。

９　ふくいのおいしい水プロジェクト推進

［内容］　水道に占める地下水の割合が全国平均に比べ突出して高い本県の豊かな水資源の保全活動を進め、有効活用を図るよう支援を行う。

10　きれいなまちづくり

［内容］　地域の清掃や花の植栽等による環境美化活動について、普及広報を行う。

11　福井型環境教育・学習推進

［内容］　里地里山里海での自然体験や農業体験などを写真で展示、環境教育・学習教材「エコワークブック」の活用を推進するなどして、環境教育を振興する。

Ⅳ 県補助事業

１ 環境アドバイザー等の派遣事業

［内容］　事業者、団体、学校、自治会等が開催する研修会へ講師（環境アドバイザー）を派遣する。

２ ふくい環境フェア 2012 開催事業

［内容］　「ＬＯＶＥアースふくい」、「ものを大切にする社会づくり」、「自然再生ふくい」等の県民運動の普及啓発および推進するため、環境フェアを開催する。

［開催時期］　平成 24 年秋

［場所］　未定

３ ものを大切にする社会づくり事業

［内容］　壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取り組みを実施する。

(1)修理工房やフリーマーケット（古本市)、おもちゃの修理ボランティア養成講座などの開催

(2)修理店やフリーマーケットの開催情報をホームページ等で提供等

４ 子ども船乗り体験事業

［内容］　子どもに海の自然環境を体感させ、環境保全意識を醸成し豊かな感性を育むため、小・中学生を対象に里海での船乗り体験を実施する。

(1)学校単位で参加校を募集し、漁船での漁業体験等を実施

(2)乗船料、バス借上料等を助成

［開催時期］　5～11 月

５ ふくいエコ活動応援事業

［内容］　環境保全活動のより一層の推進を図るため、地道に環境保全活動に努められた活動団体について表彰を行う。

Ⅴ 会議等

下記のとおり会議を開催する。

１　総会

開催時期　平成 24 年 4 月 26 日（木）
場　　所　福井県国際交流会館 特別会議室
内　　容　総 会：平成 23 年度事業報告および収支決算報告について
　　平成 24 年度事業計画（案）および収支予算（案）について
　　役員改選について
　　環境活動事例発表会

２ 役員会

開催時期　平成 24 年 4 月 26 日（木）
場　　所　福井県国際交流会館　第 2 応接室
内　　容　総会提出議案について

３　企画委員会（4 回程度開催予定）

４　募金委員会（2 回程度開催予定）

Ⅵ 特別会計

１ 特別積立金

［内容］　記念事業実施のため、積立により財源を確保する。

２ ふくい環境貢献活動支援事業

(1)環境ふくい CO2 削減貢献事業

［内容］　県民･事業者から提供された資金と県の補助により、CO2 削減活動や水環境の保全活動などを実践する団体へ助成する。

(2)ふくい生物多様性保全支援事業

［内容］　県民･事業者から提供された資金と県の補助により、生物多様性保全活動を実践する団体へ助成する。

３ エコポイント事業特別会計

［内容］　国が実施するグリーン家電普及促進事業（家電エコポイント)、携帯電話回収促進実証事業（たんすケータイあつめタイ）および環境対応住宅普及促進事業（住宅版エコポイント）による当協議会への環境寄付を活用し、普及啓発に関する事業を実施する。

４ ふくいおひさまクラブ特別会計【新規】

［内容］　住宅用太陽光発電設置により削減されるＣＯ2 量を集約し、国内クレジット制度を利用しクレジット化し、クレジット売却益はＣＯ2 削減活動に活用する。